



洋書輸入協会会報

Vol. 32 No. 9 (通巻376号) 1998年9月

理事会報告

8月27日(木)

1. 規約改正案審議

- 7月理事会にて結論が出なかった名称および会費について引き続き審議した。その結果名称を以下の通りとすることに決定した。

日本洋書協会 (Japan Foreign Books Association)

- 会費については9月理事会にて決定することを目処に継続審議とした。
 - その他若干の字句を修正した。
2. 規約改正のための臨時総会開催日程を決定した。

日時：11月26日(木) 午後2時より

会場：ホテル エドモント (東京・飯田橋)

議題：規約改正

[総会開会前に同会場にて講演会を開催する。]

3. 共同物流に関して公正取引委員会の見解を打診していることが事務局長より報告された。

4. 委員会報告

- ダイレクター委員会：DIRECTORY Agent Listの電子化検討に先立ち、会員の考えや利用状況把握のためにアンケートを行う。
- 会報委員会：各委員会の活動状況を会報で報告することを検討している。

9月14日(月)

1. 規約改正・理事会案を取纏めた。

- 会費：賦課部分算出は年商を主体に資本金及び従業員数を加味した営業規模を基準とする。営業規模の判定は自己申告による。
- 名称：日本洋書協会とし、英文表記を Japan International Publications Association (略称 JIPA) とする。

2. 臨時総会準備を概略以下のスケジュールで進める。

- 理事会案等の資料配布 (9月21~25日)
- 臨時総会開催通知 (10月中旬)
- 最終理事会案作成・配布 (11月中旬)
- 臨時総会開催 (11月26日)

3. 共同物流に関する公正取引委員会の見解が事務局長より報告された。

4. 委員会報告

- ダイレクター委員会：直接の聞き取り調査では既ね Agent List 電子化に賛同している。また業界情報不足の声が多い。
- 広報渉外委員会：総会開催日とは別に会員向けセミナーを企画している。
テーマ(仮)：洋書業界に提言する
講師：人文系及び理工系から2~3人

目次

理事会報告	1	文化厚生委員会だより	3	Up to the Bar	6・7
海外ニュース・うちの会社	2	パソコン外論考(其11)	4	広告	8
		出版文化史逍遙	30		5

イタリアにもインターネット書店開店

イタリアにもインターネット書店が開設された。名称はINTERNET BOOKSHOP ITALIAで、ミラノのINFORMAZIONI EDITORIALI（書誌データベースの作成・管理を行う）が80%、イギリス及びヨーロッパにおけるインターネット書店の大手INTERNET BOOKSHOP (W. H. SMITH) が20%をそれぞれ出資している。ホームページのアドレスは <http://www.internetbookshop.it/hme/hmepage.asp> で、約25万件におよぶイタリア書籍（現在刊行しておりISBN

が付いているもの）を網羅している。ターゲットは海外のイタリア書籍購買者、国内の図書館、企業、そしてもちろん書店に足をはこべない個人顧客である。

IBS ITALIAでは現在オンライン書店に求められているサービスはすべて提供しており、それには書籍、著者にかんする情報も含まれている。顧客はアクセス・コードを通して注文の状態を調べられるし、e-mailを利用して注文の受取確認や書籍の出荷日を通知してもらえる。

PUBLISHERS WEEKLY/AUGUST 10, 1998

うちの会社

大洋交易株式会社

「おたくの会社は何屋？」と聞かれたら、情報屋、堅く言うなら情報サービス業と答えます。分野はファッション、クライアントはファッション系企業、お会いするのはデザイナー、マーチャンダイザー、社長等で商品企画に携わる方です。ファッション系の会社といっても範囲は広く、洋服をつくるアパレルメーカーを中心に、糸、生地メーカー、バッグ、靴、化粧品業界、また、それらを売る百貨店などの小売業があります。そこで仕事をしている人たちの共通の話題は、どういう商品を消費者に提案したら喜ばれるか、です。言い換えれば、なにを作ったら売れるかで、利益に直結します。そこで必要になるのはトレンドの予測と、新鮮な提案をするためのさまざまなインスピレーション・ソースです。それらを提供するのが私たちの仕事です。特にトレンド予測には広範囲な情報収集力、分析力、先見性、高度な感性等が要求されます。そして、服の場合で言えば、1年先にどういうコンセプトで、どういう色、素材、スタイルの服を作れば売れるかという

ことになります。パリ、ニューヨーク、ロンドンにはこうした情報を発信して何十年も飯を食い、世界のファッション・トレンドに強い影響力を持つ会社が数社あります。スタイリング・オフィスと呼ばれていますが、ファッション版シンク・タンク、インスティテュート、あるいは総研みたいなものです。私たちはそうしたトップ数社と提携し、「来年の秋冬は?」「再来年の春夏は?」といった情報を提供しているわけです。すごくビジュアルなりポートで、インスピレーション・ソースとしても役に立っているようです。今年流行ったスケスケ下着ファッションも、この辺から出て来ているのです。こうしたビジネスをメインに、「ファッションに関する情報なら、まかせて」というのが弊社です。業界のプロにとって欲しい情報、価値のある情報はいろいろあるんです。当協会との接点になっている雑誌、BOOKの情報量も、この分野では丸善さんにも負けません。原宿では「タイヨーさん知らないのは、モグリ」という噂もあるようです。（和田 茂）

フォーティラブ（テニス同好会）合宿報告

夏休みも本格的になりはじめた8月8日の土曜日、野田市の名門テニスクラブ、野田ロイヤルSCテニスクラブにて、今年の夏合宿は開催された。8月の土曜日ということもあり、横浜を7時に出た車は案外と早く8時30分にコートに到着した。同乗の小橋さん（三省堂書店）と暫くの間、念入りなストレッチとボレーボレーで準備を済ませたが、集合時間の9時になっても誰れも現れず、矢張り前日の夜から勾留しておかないといけないのかと反省した。しかし、1時間もすればほぼ全員集合されたようで、賑やかな歓声が青空のもとに広がっていった。

昼食時には初参加の6名の方々も打ち解けて歓談されていました。鶴さん（東亜ブック）、山田さん（東京ブックランド）、沢田さん・箱田さん（医学書院 MYW）、栗野さん（OUP）、柴田さん（洋販）、楽しかったですか、また参加して下さいね。

午後からは、恒例となっているレッスンプロによる初心者レッスン教室のオープンです。但し、初心者の方はほとんどいなくて、中級者まで参加していました。また、並行して、ダブルスのトーナメント形式での試合を開始していき、どんどん敗退する男子ペアに対し、順調に勝ち上がる男女混合ペアという構図が見られた。その流れの通り決勝戦は鈴木・柴田の洋販ペアと、正路・常住（MYW・丸善）のペアで戦かわれ、白熱のうちに洋販ペアの頭上に勝利の冠が授けられ、西沢会長より副賞の豪華賞品が手渡されました。

夕方からはバーベキュー大会です。初参加の栗野さんは油がはねるのも恐れず、汗を拭き拭き大健闘でした。ともかく楽しい野田のテニス合宿。次回は10月31日（土）に開催します。多くの会員の皆様の参加を幹事一同、お待ちしております。柴田（東光堂書店）記



投稿を募ります

会報マンネリ化の声が聞こえます。新風を吹き込み、より多彩な内容とするために会員の皆様の投稿をお待ちしています。本のこと、仕事のこと、内外の同業との交流のこと等々、題材は問いません。随筆、批評なども歓迎します。忙中閑を捻り出して一文物してみませんか。

（会報委員会）

パソコン外論考 (其11)

宇田川一彦 Udagawa Kazuhiko

◆あまりにも漢字が多くて/So many stars.

子曰、道千乗之國、敬事而信、節用而愛人、使民以時、

The Master said, 'In guiding a state of a thousand chariots, approach your duties with reverence and be trustworthy in what you say; avoid excesses in expenditure and love your fellow men; employ the labour of the common people only in the right seasons.'

(論語/学而・Confucius; The Analects/Book I)

【超拙意訳；先生がいわれた。「千台分の戦車を保有している国を道(みち)びくには、まあ、言ってみればこの中程度の国の『政治』は、事を敬(つつし)んで、また信用を失わんようにすることだなぁ。そして、国の費用を節約し、いわば、チープ・ガバメントに徹すること。それと、人民を愛すること。で、人民を使役するときには農閑期とかにするべきじゃ。】

【外注：荻生徂徠(『論語微』)の説では、すこし違う解釈をしています。冒頭の箇所を「千乗の国を道(よ)ぎるには」と読みます。したがって、天子が諸国を巡行する際には、無駄な出費や饗応をさせて人民を苦しめないことと解釈しています。ユニークでおもしろいと思いますが今回は組みません】

某月忘日。約38年程前、1960(昭和35)年、筆者が大学生の時(我が愛するBay Starsの前身が優勝した時)。亡父から「論語」の手ほどき(1講義5時間週2回のハードなものだったのですが)を受けて以来、一度はと、思いながら実現できなかった「荻生徂徠」の墓を見まわりました。場所は、東京三田の魚藍坂下の先にある「長松寺」境内にありました。多少の感激はあったのですが、なんだか拍子抜けの感がぬぐえないのです。なぜなのか。うーん、やはり寺が近代的になり、境内が「チョー小さい」のが原因かなと思っております。

でも、38年振りの「横浜BS優勝記念」ということで、9月14日北海道旭岳(いわゆる大雪山国立公園)の中腹まで、いまが旬の「紅葉」を見に行きました。大自然のカラーリングに息をのむほど感激。さらに人間のマナーの悪さに失望。こんな所まできて、タバコ吸うな！と、口にでかかりましたが、コワイおねえさんでしたので、

注意するのをやめました。小生は、紳士ですので。

ついでに、JASの旭川便内でも「全席全便禁煙」の喧伝をすれど、water closetで一服する輩の後に入っ
てしまい、思わずJASのおねえさんにチクリました。間髪を容れずに機内放送がありました…。

で、JASではなく「漢字に関わるJIS」の話です。先号でもふれましたが、JIS漢字は第1・2水準合計6,355字と、漢字以外の文字記号(非漢字)524字の6,879文字です。ただ、OSや各メーカーのパソコン内蔵の漢字ROM等により、この数より若干多いのです。

これらすべてをパソコンのワードプロセッサでは扱えますが、じつはこのJIS漢字はパソコンのワープロをターゲットとして制定されたものではなかったのです。当時のコンピューター業界の都合、統一のコードがないと各メーカーが勝手に「漢字コード」を作成してしまうのを嫌った結果の産物として、1978年1月にこのJIS漢字コードは、制定されたわけです(この文字コードは世界で初めての2バイト系の文字です。この件は、機会があれば後述)。格好つけていえば、「JIS C 6226-1978情報交換用漢字符号系」。以降は単純に西暦の下2桁を取って「78 JIS」というように表記します。ちなみに、一般のpeople(般ピー)が使用するワープロが出現したのが、1978年の秋頃でした。

で、このJIS漢字コードは、以降「しょうもない」というと語弊がありますが、二度ほど改定されています。

1983年「JIS C 6226-1983情報交換用漢字符号系」と、1990年「JIS X 0208-1990情報交換用漢字符号」。おっと忘れるところでしたが、いま一度1997年にも改定されています。現在は仮称ですが「JIS X 0213-1997情報交換用漢字符号」。「97 JIS」は、ただ、規格内容は変更しないで規格の「明確化」を行っただけですので…。

まあ、追加する文字種として、丸付数字とか人名用漢字とか、「90 JIS」で完璧にフォローできたはずの地名の洩れの追加とか、アイヌ語の表音表記に利用する「ト°」の追加とかを「明確化」しただけです。漢字の拡張はなされていませんので忘れてください。

そこで、現在でもパソコンの圧倒的多数が使用している「83 JIS」と2バイト系文字世界初の「78 JIS」との、揺れ動くというか、「すっとこどっこい」な漢字表記やプリンターでの印字の問題、例えば「槇」「槇」、「堯」「堯」、「藪」とか「鶯」など、次回以降で取り上げて行きたいと思います。乞御期待。

明治初期の目録に見る洋書〔2〕

丸善・本の図書館 鈴木陽二

◆明治9年洋書リストにみる輸入の状況(2)

【ダーウィン生物進化論の受容】

ダーウィン『種の起源』が公刊されたのは1859で、わが国が5ヶ国と修好通商条約を締結して3港を開港し、貿易が開始された安政6年のことであった。

開国が始まると、欧米の宣教師の渡来や外国商社の進出も徐々に拡大し、それに伴って欧米の科学思想の移植もわずかずつ進んでいった。そういう中でダーウィニズム(進化論)は比較的早い段階で移入が始まり、しかも近代化過程にあった日本の学術にこれほど決定的な影響を与えた科学思想はなかった。

進化論が日本の文献に始めて現れたのは奈良の神官葵川信近の『北郷談』(明治6年)で、ついで幕末・明治の理学者の松森胤保が明治7年に上梓した『求理私言』にも触れられているということである。明治9年には横浜のYMCAがヘンリー・フォールズを招いて、在住の外国人に向け『進化論と神学』と題する講演会を実施したようであるが、進化論が在日外国人の間で関心がもたれていたことが理解できる(中西道子「横浜と進化論」)。フォールズは宣教医師として来日し、築地病院を開設したり東京訓盲院(筑波大学附属盲学校の前身)の設立にかかわるなど、日本の医療に貢献するとともに指紋法の科学的研究で世界的な名声を馳せた。

このように、進化論の浸透はわずかずつ進んだが、本格的な受容が始まったのは明治10年に来日したアメリカの動物学者で東京大学理学部のお雇い教授になったE. S. モースによる進化論キャンペーンが行われてからであった。彼は明治12年の帰国まで、大学での講述や公開講座で進化論を積極的に論説し知識層に多大な影響を与えた。彼の講演の聴取者の名簿が残されているようであるが、それには皇族、政府高官、華族、学者など、この時代指導的役割をになっていた130人が記載されているという(中西道子同上)。明治初期の近代化の過程で日本人はもっぱら欧米の技術を取り込むことに専心したのであるが、進化論は日本人が始めて遭遇した本格的な科学思想であり、それだけに一層インパクトが強かったものと思う。進化論は後、モースの講義を訳述した石川千

代松『動物進化論』(明治16年)などが出版されるにいたって一層の浸透普及をみるようになった。

ダーウィンの著作の初期邦訳は、明治14年に神津専三郎纂訳『人祖論』(The Descent of Man, 1881)が出版されただけであり、主著『種の起源』は明治29年に立花銃三郎の抄訳『生物始源・一名種源論』が刊行され、完訳にいたってはようやく大正5年に大杉栄により『種の起源』として現れた。日本の近代思想の大きな柱となった重要な出版物であっただけに、なぜ翻訳がこのように遅れたのか不思議でならないが、原書の大量流通にとっては幸運であったといえるだろう。

一方、この頃の図書館目録でダーウィンの著作の所蔵を調べてみたところ、明治8年発行の東京開成学校(東京大学の源流のひとつ)の洋書目録や明治9年の工部大学校の目録には掲載されていない。「東京書籍館」(国立国会図書館の源流のひとつ)の明治9年の目録には3点収録され、その中に『種の起源』第5版(1871、ニューヨーク)が含まれている。さらに言及すると、明治10年の「東京大学法理文学部」英書目録には9点も収録され、主著が揃っている。東京開成学校は明治8年に英書が845点10,869冊であったのが、明治9年には11,703冊(点数不明)に増加し、さらに東京大学目録ではタイトル数で1,571点(冊数不明)の所蔵になっている。タイトル数でみると、明治8年から明治10年の2年ほどのあいだに倍増したことになるが、ダーウィンの著作は東京開成学校時代に購入されたものか、東京大学になってから収録されたものか、目録がないため確認できない。

ともあれ、この丸善の洋書リストが出た明治9年(6月)の日本では、「進化論」(ダーウィニズム)の受容が端著についたばかりで、知識層にほとんど浸透していなかった。そういう時代的背景を考えると、丸善の『種の起源』の輸入が先駆的な意義をもち、その思想の普及に大きな役割を果たしたことは確かである。

(参照図書：村上陽一郎『日本近代科学の歩み』/渡辺正雄『日本人と近代科学』/上野益三『お雇い外国人③自然科学』/中西道子「横浜と進化論」『横浜の本と文化』/『東京大学百年史 部局史4』)

UP to the Bar

島岡 丘

ロンドンからインターシティ125の列車で30分ほど離れたところにあるレディング大学にいたときの話である。大学構内にある学生宿舎で、親しくなったイギリス人が、ある日の午後、私の部屋に立ち寄り、Shall we go up to the bar? と言い、私をバーに誘ってくれた。

大学生を主に対象にしているバーなので、由緒あるものとはほど遠いが、バーに入るとみんなで気楽にざっくばらんに話し合う。互いにおごり合うので2人で行くと2杯、3杯になることが多いらしい。A pint of beer please. またはA half-pint of...と言って注文するわけだが、普通よく飲まれているのはイギリスの伝統的なaleであろう。ややアルコール分が少ないのをlight aleと言うが、彼らの発音は「ロイ[^]タイアウ」のようにつなげて聞こえる。paperがpiperのように二重母音が変わるので、lightは音声体系上、loitのようになるのである。

イギリスの夏はあまり暑くならないので、ビールはあまり冷えてなくても気にならない。製造法も高温表面発酵だから冷たくしない。アイルランドのダブリン産の濃褐色のGuinnessも好まれているらしい。メキシコやオランダから入ってきた軽い味のビールも飲まれる。

ciderは日本のサイダーではなく、アルコール度の高いリンゴ酒である。sweetとdryとがあるが、好みであろうが、どちらも口当たりがいい。ciderはイギリスだけでなく、ヨーロッパ各地でも飲めるそうである。

そのイギリス人とビールを飲みながら、いろいろの話をした後、話題が日本人の英語に及んだ。それはlとrの区別の話だった。PalaceとParisの区別の発音の区別が出来ない日本人が気の毒でならないらしい。バッキンガム・パレスを見に行こうとしてバッキンガム宮殿のすぐ近くのVictoria Stationにやって来たのに、警官にWhere is palace? と聞くつもりが、Where is Paris? と相手の警官に聞こえてしまったらしい。その親切な警官の「おかげ」で、パリ行きの列車に乗せられてしまったという話をした。

今の私だったら、lとr区別はカタカナの工夫（島岡式カナ表記）で相手に十分その違いが伝えられるようになっており、声の切れ目を示す「中黒点」の位置を守りさえすれば日本語によってlとrの区別をすることがで

きる。例えば、リトルスターシリーズ（小学館）で英語を学んだ小学生とその父兄は、そのような誤解を与えることはないだろうと言うだろう。つまり、Palaceなら、「ペアウ・レイス」と示し、Parisなら、「ペア・ウレイス」と発音することで明らかになる。ただし、ウ・レイのlの発音のとき、舌先（前舌ではない）だけがしっかり歯茎につけることが条件である。

ついでながら、Gower Streetにある有名な本屋は、Dillon'sだが、これを「ディロンズ」でなく、「ディウ・ルンズ」と言うと英語らしくなる。またアメリカのメロン大学も「メウ・ルンズ」のように言うと英語として通用するようだ。電話でcollect callは「クウ・レ[^]カーウ」と言うと、correct callと間違えないで通じると思う。

カタカナのちょっとした工夫で、教師がいなくても近似カナ表記でlとrの区別ができることが普及しはじめたが（参照：英語発音表記学会編『英語の発音と表記』1998）、当時は、そこまで自分の考えが進んでいなかった。ので、もらい笑いでその場をすごしたのは残念だった。

とにかくバーではまわりが騒々しいので、声も大きくなる。気がついてみると1,2時間が過ぎてしまっている。あたりの学生も何杯もお代わりして飲んでいる。私の記録は教え子たちと一緒に飲んだ7杯というのが最高だそうだ（ただし、これは日本での話だが）。

ビールをお代わりするとき、go up to the barという意味が実感できた。バーのカウンターの方に行って入れてもらうわけで、こちらからカウンターのところへ向かっていくという意味でupを使うのが自然である。恩師の最終講義でlist upは和製英語で、実際は使わないということを知ったが、それがきっかけでupの用法に関心を持つようになった。

ワシントンのホテルではエレベーターのところに、THIS CAR UPというのがあったし、法廷の場面では裁判官のところに検察と弁護士を呼ぶときにNow get up,guys.と言う場面を見たり、目を開けなさいと言うときに、Open upを使う場面を見た。Shut upだが、Cut it outである。Sign upもよく見かけた。チームを組むときはteam upと言う。難語ばかりを覚えようとする大学受験生がいるようだが、upなどの使い方を英英辞典などで定義と用法を調べるほうが、英語力がつくのではないかと思うがどうだろうか。

バーでの話し合いも楽しいが、バーについて読むのも

面白い。今年の夏、British Council の援助もあってお招きした、マンチェスター大学の Alan Crutlenden 教授からいただいた本の中に、English Pubs という小冊子があった。そのはじめの部分に pub の楽しみが書かれているがそれを読むと、イギリス人の生活の一部になっている。そのいくつかをご紹介します。

1 The local pub is a natural forum for the exchange of gossip, ideas, news, and a resting place for weary travellers. (地方各地にあるパブは噂話、考え方、ニュースなどを交換し合うごく自然な集会所であり、また、旅で疲れた客の憩いの場所でもある。

bar-tender とともに話す機会もあったが、日本からのお客さんともっと話したいと思っているのに、日本人はとかく自分たち同士で固まっているので、話できなくて残念がっている人もいた。やはり、旅は一人で行くに限るとも言えるかもしれない。

2 Pub and inns reflect the character of their surrounding areas. (パブや宿屋はそのまわりの特徴を反映している。)

具体的には、藁葺きの屋根が似合っているところもあれば、石造り (mellow stone) や煉瓦造り (brick and flint)、半木造造り (half-timbering) のところもあり、地下に降りていくようなところもある。

3 Inside, the best of them boast wide open fireplace, beamed ceilings, cosy snuggeries and (with luck) well-brewed ale. (中に入ると、俺たちのパブが最高だと言って、広い暖炉、横梁の天井、心地よさ、(運がよければ) 口当りよく醸造されたビールを例にあげる。

4 The landlord may regale customers with tales of the ghosts, smugglers and royalty. (パブの主はお化けの話や密輸業者さらに王室の噂話をして客を喜ばすのである。)

5 He (=the landlord) will also listen to the story of the one that got away. (夜逃げして来た人の話にも耳を傾けてくれるだろう。)

6 there's a long tradition of pub games to uphold: skittles, darts, dominos, and usually a willing companion to compete with. (パブ内で行われるパブゲームという長い間維持されてきた伝統がある。たとえば、九柱戯、投げ矢、ドミノがあるが、たいいてい仲間に加わってくれる相手がいるものだ。)

7 The traditional pub is a haven, whether from ploughing the fields, digging the garden, shiftwork in a factory, a dull day at the office, an empty houses or even a leisurely stroll along the local footpaths. (昔からあるパブはいわば休憩所のようなものである。たとえ畑作業を終えて来た人でも、穴掘り作業をして来た人でも、工場交代勤務を終えて来た人でも、会社や孤独の住まいで退屈な時間を過ごした人でも、近くの散歩道をぶらぶら歩いて来た人にとってもである。)

8 The pub is a blessing to travellers with many miles behind them and many more ahead (パブはこれまで何マイルも歩き、さらにもっとも歩かねばならない旅人にとって幸せの場所なのである。)

9 The English pub is an institution that is envied and venerated the world over (イギリスのパブはなじみの場所であって世界中から羨望され一目置かれているのである。)

そして、最後のまとめとして、

10 No community is complete without its local pub. (それぞれの地方にはパブがなければ社会生活は不完全なものになる。) と結んでいる。

今度またイギリスに行ったら、有名な文人がいきつめたパブばかりでなく、普通の生活をしているイギリス人がが気楽に訪れるパブに一人で行ってみたい。ロンドンで三浦弘氏に連れられて入ったバーで飲んだサイダーはとておいしかったことを覚えている。ワインやビールなどを飲みながら話し合うのは英語は外国語という一種の緊張感がほぐれるような気がする。

日本には喫茶店が少なくないが、私にはpubはそれにあたるように思う。若い女性でも誰でも気楽に入られるし、しかも知らない人とでも気楽に話ができる。

ただし、規則がないわけではない。Paddington の近くのバーは午後11時を過ぎてから客に売ってはならないという規則と11時半が閉店という規則があった。

なお、このエッセイをまとめるにあたってCrutlenden 先生他、専修大学の三浦弘氏と就実女子大学の田淵博氏にたいへんお世話になった。お3人にお礼を申しあげたい。

(茨城キリスト教大学教授)

BBC EDUCATION & TRAINING

BBC VIDEO LIBRARY

ロイヤル・ナショナル・シアターの 「リア王」 KING LEAR

1998年BBC(英国放送協会)制作 2巻組140分(オリジナル英語版・スクリプト付) ¥80,000(税別)
イアン・ホルムをタイトル・ロールとした、ロイヤル・ナショナル・シアターの「リア王」。世界中の演劇界・批評家が激賞したこのステージの完成度は、ジョン・ギールグッドそしてローレンス・オリビエの名演とともに今世紀最高のパフォーマンスとして残されることは間違いない。リチャード・エアの演出によるその舞台の緊張感をそのまま映像で再現するためBBCが最高の撮影スタッフを擁して取り組んだ1998年の大収穫。撮影監督に「フィッシャー・キング」などのロジャー・プラット。

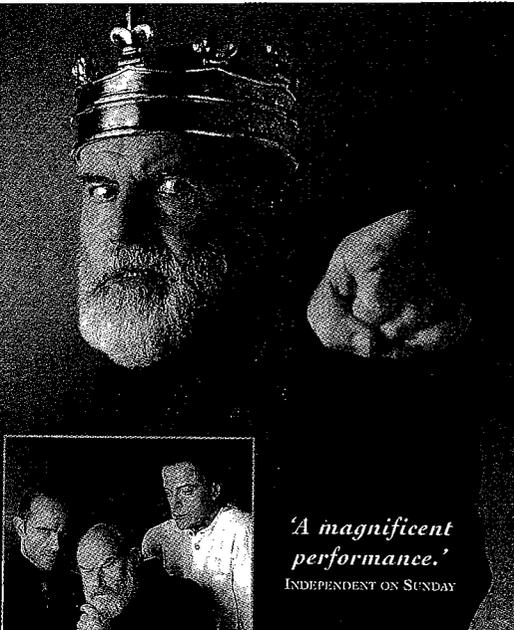
'BLOW, WINDS, AND CRACK YOUR CHEEKS! RAGE! BLOW!'
KING LEAR

IAN HOLM'S REMARKABLE PERFORMANCE AND RICHARD EYRE'S STUNNING DIRECTION MADE THE ROYAL NATIONAL THEATRE'S KING LEAR ONE OF THE MOST TALKED ABOUT THEATRICAL EVENTS THIS CENTURY.

THE FULL POWER OF THIS TRIUMPHANT SHAKESPEAREAN PRODUCTION NOW COMES TO TELEVISION, IN A SPECIALLY FILMED PERFORMANCE ALSO DIRECTED BY RICHARD EYRE.

IAN HOLM AGAIN CLAIMS THE TITLE ROLE, WHICH BROUGHT ACCOLADES FROM CRITICS AID OVER THE WORLD. WHILE A STAR-STUDDED SUPPORTING CAST INCLUDES TIMOTHY WEST AS THE EARL GLOUCESTER, FINBAR LYNCH, PAUL RHYS, BARBARA FLYNN, AMANDA REDMAN AND VICTORIA HAMILTON.

FIRST PERFORMED ON ST STEPHEN'S NIGHT 1606, KING LEAR HAS LONG BEEN RECOGNISED AS ONE OF WILLIAM SHAKESPEARE'S MOST COMPLEX AND POWERFUL PLAYS. THE TRAGEDY OF A POWERFUL MAN BROUGHT TO THE BRINK OF MADNESS AND DESPAIR RESONATES STRONGLY STILL THROUGH THE TROUBLED EVENTS OF OUR OWN TIMES.



'A magnificent performance.'
INDEPENDENT ON SUNDAY

BBC(英国放送協会)ワールドワイド社 日本総代理店
株式会社 キャリア・デベロプメント・インタナショナル
グローバルメディアグループ
東京都港区三田3-13-16 三田43 森ビル7F 〒108-0073
TEL.(03)5445-2959 FAX.(03)5445-2937

SONY
Group

1998年9月 通巻第376号 洋書輸入協会 編集者 高橋 紘
☎103-0027 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室 ☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920